

平成11年度宝くじ助成事業成果概要

業 務 部

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、レクリエーションと憩いの場などの役割を担っており、河川空間の種々の機能に対する期待と要請が一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、河川改修を行う際、河川がもっている治水、利水、生態系、景観性、親水性等の多機能を活かした多自然型川づくりや水辺空間整備が行われている。

このような多自然型川づくりや水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通じて、河川愛護意識の普及を図っていくことが重要である。

(財)日本宝くじ協会からの助成事業による水辺広報活動は、昭和62年度からスタートし、平成11年度は55,575千円の助成金を受け水辺空間に関する広報と併せて宝くじ事業の公益性に関する一般の方々の理解を深める目的で事業を実施している。

1. 水辺施設の設置

水辺施設はアメニティ施設と水辺自然環境施設の2つの部門がある。

アメニティ施設は、水辺空間整備を実施している地区において、施設を設置することにより、さらに水辺空間の魅力が増し、地域の人々から親しまれることを狙いとして に示す箇所に設置した。

また、水辺自然環境施設は、水辺の自然環境の向上に取り組んでいる地域の主要な箇所において、施設を設置することにより、植物、昆虫類、魚類等生物の生

息場所の復元・再生、創出等を行い、水辺の自然環境の一層の向上を狙いとして に示す箇所に設置した。

アメニティ施設 1ヶ所

相模川(神奈川県平塚市):自然観察・身体障害者用デッキ

水辺自然環境施設 1ヶ所

富士川(千葉県松戸市):根木内中学校ピオトープ

2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、次の7点を作成し、国、地方自治体及び民間団体等に配布した。

「別冊FRONT～環境学習最前線～」の作成

「リバーガイド」の作成

「人と川とのふれあいを求めて」をテーマとしたカレンダーの作成

「人と川とのふれあいを求めて」をテーマとしたポスターの作成

「RIVER FRONT Vol. 35, 36, 37」の作成

「清流を考える」の作成

「東京の川めぐり」の作成

平成12年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、パンフレット等の作成と水辺施設の設置を実施し、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う計画である。水辺施設は、昨年8月から12月にかけて募集した結果、石巻市、取手市及び信州新町の3箇所が選定された。



写真-1 アメニティ施設
相模川(神奈川県平塚市)自然観察・身体障害者用デッキ



写真-2 水辺自然環境施設
富士川(千葉県松戸市)根木内中学校ピオトープ